

フィルム型ペロブスカイト太陽電池の 前処理を主軸としたリサイクルプロセス提案 および易解体設計へのフィードバック

2026年1月23日(金)
14:00 ~ 17:00 (開場:13:30)

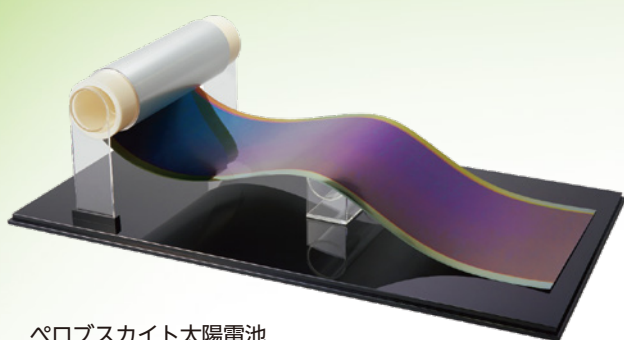
会 場:100名 オンライン:500名
対 象:学生、教職員、一般
参加費:無料

申し込み▼



開催趣旨

本シンポジウムは、環境省・独立行政法人環境再生保全機構（ERCA）の環境研究総合推進費の助成を受けて進めている研究プロジェクトの成果報告会です。
本研究プロジェクトでは、再生可能エネルギーの拡大に向けて導入が期待される「フィルム型ペロブスカイト太陽電池」の将来的な普及を見据え、その適正処理と高度な資源循環のあり方について、技術的な検討を進めています。特に、前処理を中心としたリサイクルプロセスの構築や、易解体設計へのフィードバックに資する知見の整理を主眼としています。
当日は、これらの研究内容および現時点で得られている成果についてご紹介いたします。あわせて、環境省環境再生・資源循環局資源循環課より基調講演を賜るほか、積水ソーラーフィルム株式会社より、ペロブスカイト太陽電池の開発および社会実装に向けた最新の状況をご報告いただきます。
皆様のご参加を心よりお待ちしております。



ペロブスカイト太陽電池
(出典：積水化学工業株式会社)



早稲田大学教授
所 千晴



環境省
水島 大輝



積水ソーラーフィルム株式会社
森田 健晴



早稲田大学准教授
犬束 学



東京大学准教授
高谷 雄太郎



早稲田大学講師
岩井 久典

プログラム

司会：田所 秀之（早稲田大学 上級研究員）

14:00~	開会挨拶	プロジェクト紹介	早稲田大学 理工学術院 教授 所 千晴
14:15~	基調講演	循環経済と太陽電池に係る政策動向	環境省再生資源循環局資源循環課 課長補佐 水島 大輝
15:00~	講演	積水化学におけるフィルム型ペロブスカイト太陽電池の開発と社会実装に向けた取り組み	積水ソーラーフィルム株式会社 取締役開発部長 森田 健晴
15:45~	休憩		
16:00~		サブテーマ1：リサイクルプロセス開発の方向性提案および易解体設計へのフィードバック	早稲田大学 カーボンニュートラル社会研究教育センター 准教授（JX 金属寄付チェア）犬束 学
16:20~	環境研究総合推進費 研究報告	サブテーマ2：物理的分離を主軸としたリサイクルプロセスの確立	東京大学大学院 工学系研究科システム創成学専攻 准教授 高谷 雄太郎
16:40~		サブテーマ3：化学的分離を主軸としたリサイクルプロセスの確立	早稲田大学 理工学術院 講師 岩井 久典
17:00	閉会挨拶		
17:15~	情報交換会		

場所 早稲田大学121号館
コマツ100周年記念ホール
(東京都新宿区早稲田鶴巻町513)

主催 循環バリューチェーンコンソーシアム
早稲田大学オープンイノベーション戦略研究機構

共催 早稲田大学 理工学術院総合研究所

後援 環境省

